山形県生涯学習センターだより

2015.3 Vol. **3**

生涯学習やまがた



Contents & . < · t

4

5

	T 1074		/ — VII/ / TI A
-		山形県生涯学習セン	/ター事業紹介
_	+ IIV. / / III -		

- ・山形県生涯学習センターが主催しました
- 生涯学習実践者インタビュー

						//						
•	4	E 》:	₹!	学	2	3-	P	=	; †	J	1	

・地域の取り組みを紹介します

6

Information

8

生涯学習センタ

山形学

山形学

り」「祈り」「食」「音」などさまざまな切り口で、山形の 現地学習などをとおして、活発に学び合っています。 まざまな立場の参加者が集い、講義やディスカッション、 10月までの連続講座では、20代~80代まで県内各地のさ で四半世紀に渡り、年度ごとに「最上川」や「農」「祭 資源を掘り起し、その魅力を探ってきました。入門編と して6月に開催されるフォーラム、それに続く7月から 多彩なテーマで山形の魅力に迫る「山形学」。これま

など、山形の若者の過去・現在を踏まえて、山形の若者 形の若者の活動や、現在の山形の若者の多様な生き方 法律をつくるきっかけとなるほど活発に行われていた山 手である「若者」がテーマ。かつて全国的に注目され国の 26回目となる今年度は、地域そして社会を創る担い

のこれから、そして山形の未来について考えていきます。

地域学交流集会

場をこえて交流の輪が広がっています。 中心に、高校生や大学生、若者の参加も多く、世代や立 などを行っています。「山形学」地域連携講座の仲間を 年は、ポスターセッションやシンポジウム、ワークショップ て、平成12年から地域学交流集会を開催しています。近 い、それぞれの活動や地域学のあり方を学び合う場とし 各地で地域学や地域づくりを実践している仲間が集

シニア地域実践活動支援

今年度も開催予定です。

講座」との共催で、有名作家による作家トークショーを

連携を図り、継続的なスキル向上や活動環境整備のた ド。県内9地域の団体に対して、地元の観光協会などと めの支援を今年度も行います。 県内各地で活躍するシルバー観光ボランティアガイ

連携・支援

|山形学||地域連携講座

は、歴史学習、文化体験、まち歩きなど多様な形やテーマ 開されていますが、山形学と想いを同じく活動する仲間を で、行政・教育機関・NPOなどさまざまな団体によって展 「山形学」地域連携講座として支援しています。@┙CHECK! Pe 地域学のような地域に関する学習や地域づくり活動

「山形学」を知るなら

25年にわたる理論の変遷 追及の成果をまとめた 書籍『山形学 山形における 地域学の成立と展開』を是 -読ください。

山形学 山形における地域学の 成立と展開

生涯学習活動実践団体との連携

る自主運営の文学講座の「小説家(ライター)になろう 話役となり、,真剣かつカジュアル。がモットーの有志によ

山形市在住の文芸評論家・池上冬樹先生が講師兼世

書店で好評販売中♪ 当センター・県内一部

(米沢市上杉神社周辺で活動)

会長 森谷昭夫氏より

ょうしなガイドの会も創設20年が経過し、大きな節 観光客の皆様に今まで



以上に歴史の 資源が豊富な 米沢に再び訪 れたいと思って てまいりたいと

思います。

おしょうしなガイドの会

山形県生涯学習センター

はじめてご利用される方へ

やまがたマナビィnet ①

||イベントカレンダー

山形県生産学習文化財団 山形県生産学習センター

域文化データベースの「ふるさと塾アーカイブス」のサイ 体の伝承活動を網羅し、映像記録や資料を収集した地 ティア団体の活動内容の「団体・グループ」情報、文化施 学習関連の情報提供を行っています。県内で開催される トも運営していますので、ぜひお役立てください。 た山形県内の情報を検索することができます。県内全 設や公民館等の生涯学習関連施設の「施設」情報といっ 活動履歴等の「講師・指導者」情報、生涯学習やボラン 学習情報提供システム(やまがたマナビィnet)にて、生涯 講座・イベント」、講師や生涯学習実践家の指導内容や 本財団のホー ムページ上に設置している、 Щ 形 原生涯

http://www.gakushubunka.jp/yugakukan/manabinet/

山形県生涯学習情報提供システム

4

やまがたマナビィnetのご利用について

情報の検索方法について 情報の登録・掲載を希望される方へ ご利用に際して

「やまがたマナビィ net"

下の検索ボタンをクリックすると、各検索画面へ移動します。

生涯学習関係職員研修

委員会と連携して今年度も開催します ^ーマ別研修としてのスキルアップセミナーを、県教育 指し、新任者を対象としたパワーアップセミナーと、 市 町村の社会教育、生涯学習関係職員の資質向上を

つくり、地域づくりを支えるための職員の役割や、どん 何だろう?という基礎的なことから、豊かな学びの場を パワーアップセミナーは、 「社会教育」「生涯学習」って

業の詳細は 本財 朩

確認いただけます

平成2年7月にスタートした遊学館は、今年で25年目を迎えます。四 半世紀に亘って生涯学習の拠点としての役割を果たしてまいりました。

当時は、生活水準の向上や労働時間の短縮が実現し、余暇を活用し た「生きがい」や「ゆとり」に人々の目が向く一方で、技術革新・情報化・ 国際化が進展し、仕事や生活の場で新しい知識や技術の習得の必要 性も高まっていた時代でした。全国的に生涯学習の気運が高まる中、山 形県はいち早くこれに着目し、昭和57年の生涯教育基本構想を皮切り に着々と準備が進められ、「学習社会」形成の拠点として、生涯学習セ ンターと図書館とを併設した「遊学館」が、全国に先駆けてスタートした のでした。

その想いは、当時の板垣知事が「ゆとりをもって学ぼう」「よく学び、よ

く遊べ」の願いを込めて、「遊学館」と自ら名 付けたことにも表れています。

在学校工艺物包

ナビィカレー

◆ベージの先頭へ

総合文化情報

文字サイズ 総小 [二] 拡大

山形県郷土館 文用館

複合施設が大きな特徴であり魅力でもあ る遊学館ですが、平成13年には男女共同参 画センター「チェリア」が併設され、また平成 25年には緑町庭園文化学習施設 「洗心庵 | が生涯学習センターの分館として整備され ました。県民の多様な学習活動や交流の ニーズに応えて、複合施設としての魅力を一 層発揮することにより、今後益々学習の楽し さを実感できる場を目指していきたいと考え ています。

玄関ホールにある"からくり時計"は、子ども たちが遊びに興じ、わらべ歌を奏でながら、四 半世紀の時を刻み山形の生涯学習を見守っ てきました。さらに25年後、50周年にはどのよ うな展開を見せているでしょうか?"からくり時 計"は、これからも無心に時を刻み続けます。

「広報資料作成」と「ファシリテーション」にポイントを

術を着実に磨いてもらうために、昨年度に引き続き、

スキルアップセミナーは、職員として必要な知識や技

な力量が必要かを学ぶためのものです

絞って実施します。今年度は、置賜と最上地区でそれぞ

開催する予定です。

山形県生涯学習センターが主催しました!

山形学講座

どんな最期を迎えたいか考えることは、どんな人生を生きたいか考えること。超高齢社会に生きる私たちがこの地域で豊かに老いるため、今年度はこのテーマで、7月から10月まで全6回の連続講座を開催。前半は山形に残る文化や歴史から死や生の捉え方を整理し、後半は晩年の暮らしを幸せにするポイントを探りました。趣味や好きなことをきっかけに人や地域とつながり、そのなかで少しずつ人の役に立っていくことが鍵と「山形学」なりの結論が出ましたが、答えは人それぞれ。内容を詳しく知りたい方は講座録(遊学館ブックス)の発刊をお待ちください。※27年度発刊予定



講座に参加して、いろいろな方のお話を聞くことで、老いと生きるということを考える機会になり、とても良かった。

参加着。

パワーアップセミナー

11月18日、遊学館を会場に市町村、公民館やコミュニティセンターなどで働く皆さんを対象に、社会教育や生涯学習の基礎を学ぶ研修会を開催。2回目となる今回は、社会教育の実践者である元遊佐町教育長の小田島健男氏より、地域住民とのかかわりの大切さを学び、東北大学の石井山竜平先生からは、社会教育法の正しい解釈や、全国

の事例を通して職員の力量 形成の重要性を学びました。



地域づくりは人づくりと言いますが、地域の人々と様々なかかわりを持って活し合い、互いにアイディアを出し合って治めていく必要があるとあらためて感じました。

参加着。

地域学交流集会

宇都宮大学の廣瀬隆人氏を講師に迎え、11月1日に遊学館で開催。高校生から高齢者まで、地域活動を行う団体が集合し、熱いポスターセッションを繰り広げました!アートによる地域づくりや歴史講座など、シンポジストから活動の秘訣を学び、ワークショップでは世代を超えて交流。活動の内容は違えども、地域を愛する気持ちは同じ。地域学がそこに住むことを肯定する学びであり、過去・現在・未来をつなぐもの、といった意義を再確認できる機会となりました。



地域学の中で様々な活動があり、まさしく「多彩な地域学のかたち」を感じることができました。

スキルアップセミナー

公民館やコミュニティセンターなどで働く皆さん向けに、ふたつのテーマについての研修会を行いました! いずれも東北芸術工科大学の先生を講師に迎え、「広報資料作成」では、赤沼明男先生から伝える側の心構えやデザインのコツをゲームを交えて楽しく学びました。「ファシリテーション」では岡崎エミ先生をお招きし、全国の事例やワークショップの実践から、話し合いを活発に進めるポイントをお話しいただきました。

【広報資料作成】

▶庄内会場 11月10日(月) 庄内町余目第三公民館 ▶村山会場 12月5日(金)遊学館

【ファシリテーション】

▶ 庄内会場 11月27日(木)酒田市公益研修センター▶ 村山会場 12月2日(火)遊学館





自分でチラシを作成していて、なんだかゴチャゴチャしているなと思いっつ、どうしていいか分からなくてそのままにしていました。セミナーを受けて、説明し過ぎていたことに気づき、次に活かしていきたいと思いました。

今現在の問題 点を改めて知っ た気がする。今 できることを皆 で感じて、地域 に発信したい。

やまがたおもちゃ病院 院長 原田純

氏

得られ、子どもがその場で喜ぶことで自

おもちゃの修理は、目に見える成果が

び:のあり方を探るシリーズ第一弾。今回は、第二の人生のライフワー 地域の様々な分野で活躍する方に光をあて、その活躍を支える。学 クとして、おもちゃの修理を通して子ども達の笑顔の輪を広げている 原田純さんにお話を伺いました。

とても良い効果が生まれています。

)ご自身がステップアップ

たと感じた学びは

どんなものですか?

報交換をすることで、お互いのコミュニ がります。また、ドクター同士修理の情 らの達成感が強まり、生きがい増進へつな

ケーションが増えて活動が発展していき、

きっかけとなったことは? 活動内容と目的、始める

ちゃのお医者さん」が我々の活動です。 えたり、おもちゃの仕組みを教えたり、壊 れてしまったおもちゃの修理をする「おも さんや子ども達に「モノ」の大切さを伝 ものを買ってしまいます。そのような親御 を買い与え、壊れてしまってもすぐ新しい 今、両親や祖父母は子どもにおもちゃ

でおもちゃに興味があれば誰にでもでき です。自分のライフワークとして趣味の ちゃドクター養成講座(初級編)」(日本 る」と、講座の受講を勧められました。 うと思っていましたが、新たにボランティ おもちゃ病院協会後援)を受講したこと 平成21年度シニア新社会参画塾「おも ア活動のようなものを探していたところ、 陶芸や写真撮影等は継続してやっていこ して続けるのにもピッタリ、子どもが好き 友人から「定年退職後にライフワークと 始めるきっかけは、生涯学習センターで

活動するなかで、

り、達成感を得られる瞬間です。 の笑顔は、おもちゃドクターの喜びであ たおもちゃが動き出したときの子ども達 することです。修理が終わって、壊れてい



大切にしていることは?

子ども達の前で、お話ししながら修理

きますが、初めての場合は、知恵と工夫と ちゃであれば故障の箇所は大体見当がつ の内的要因など、おもちゃは様々な要因 や断線、おもちゃの心臓部のICの不良等 まったり等の外的要因や、電池の容量不 見ることも参考になります。 努力が勝負です。他のドクターの修理を で壊れます。多くの修理を経験したおも 足や電池ホルダーの錆、配線の接触不良 乱暴に扱ったり、落としたり踏んでし

はないでしょうか。 が終了したときの達成感は格別。多くの と関心とチャレンジ精神が大切なことで 種類のおもちゃを経験することが、ステッ プアップにつながると感じています。興味 だからこそ、悪い個所が見つかって修理

> です。やまがたおもちゃ病院もスタート 動です。 顔のためにこれからも続けていきたい活 して丸5年になりますが、子ども達の笑 おもちゃドクターは生きがいのひとつ

クターを養成しなければなりません。お 子ども達の笑顔の輪を広げたくなると とあなたも「おもちゃドクター」になって、 い方は是非現場にいらしてください。きっ もちゃの修理に興味のある方や見てみた と思っています。そのためには、新しいド 将来は、置賜地区にも活動を広げたい

【平成27年度の活動について】

〈山形診療所〉

これからの目標(夢)を

教えてください

99999

10:00~16:00 3土曜日 13:00~15:30 山形市東部公民館

〈庄内診療所〉

13:00~15:30 鶴岡市中央児童館

〈やまがたおもちゃ病院webサイト〉

https://sites.google.com/site/yamagatatoy/



今号から始まりました生涯学習アラカルト。生涯学習に関する用語解説の「Q&A」と、すぐに使える ような情報を提供する「便利帳」の二種を紹介していく予定です。取り上げてほしい題材などがありま したら、ご要望をお寄せください。

ま見が出ない、論点がずれる、まとまらない、声の大きい人の意見だけで決まる、時間の無駄…ビジネス、地域、学校など様々なシーンで、こんな会議や話し合いの経験はありませんか?そんな時に活躍するのがファシリテーターです。
中立的な立場で、課題の解決や目標の達成のために支援・促進する人。課題や目標を共有し、メンバーから引き出したアイディアや意見を優先順位、条件などで整理し、全員が納得のいく決定になるように導きます。
そのために、時にリーダーのように目的や方向性を示したり、マネージャーのように話しやすい場づくりやうまくいくように補助をしたり、カウンセラーのように丁寧に意見を聞きとったり、コーチのように様々な意見や価値に気づかせたり、コンサルタントのように必要な情報を提供したりと、多様な役

生活・学・翌/価 新川町 全すぐ信き ス 広報 チーミンのこれ 価利用・※※※





觚 B

天童市 天童市美術館主催事業

天童アートロードプロジェクトてんてん展

日頃から作っている作品などを展示するとともに、作 もの。この展覧会が、新たな出会いの場、人(てん)と人 品を作る喜びを多くの方に体験していただこうという を開催し、その時できた作品や講師作品、地域の方が 美術館の共同企画。天童市内でワークショップ(WS) (てん)がつながる場となることを目指しました。 天童アートロードプロジェクト実行委員会と天童市

者から詳しい問い合せを受けると説明に詰まってし まったり、屋外WS時の天候が心配でした。 WS内容は実行委員会にお任せしたため参加希望

ここがうまくいった

力いただきながら運営したこと するかを見本に、実行委員会が地域の方と話し合い協 とお願いせず、地域の魅力をいかに地域の方と作品に くださいました。美術館から「これをお願いします」 事業を開催した地域ではとても好意的に受け入れ

かよかったと思います

人形を

布や綿で作る経 験がこれまでなかったの で、とても楽しめました。とて

も悩みましたが人形を完成 することができました。イシ ザワエリさんがとても優し



新庄市 人と人とのふれあいの場

kito kito MARCHE(キトキトマルシェ)

ションでゆったりとした日曜日をお過ごしください。 るほか地域の伝承野菜を提供するカフェも人気です 品、飲食物、生活雑貨などのお店が毎回約3店舗軒を あらわす言葉。「手づくり」にこだわった農産物や加工 蚕や青虫などが葉っぱのうえをゆっくりと歩く様子を 緑の木々と昭和初期の建造物が立ち並ぶ絶好のロケー 連ねます。木工や羊毛、絹織物などの各種クラフトやヨ 市エコロジーガーデン)を会場に毎年5月から11月の第 3日曜日に開催しています。キトキトとは、最上地方で 、移動図書館車など多彩なワークショップも開催され 登録有形文化財·旧蚕糸試験場新庄支場(現:新庄

ここが大変■

が拡大されたことで運営が大変になってきています。 毎回およそ1,000人の来場者が来るようになり、規

ここがうまくいった

ブロジェクトになりました。 、多くの人たちが関わりをもつ 実行委員会とボランティア、行政が協働により運営

きです。商品にかける想 いを生産者や作家さん から直接聞くことができ るのも魅力です。

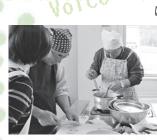
レトロでおしゃれ、ゆっ たりとした雰囲気が好



ここが大変■

加者がなかなか集まらなかったこと。来館者に気軽

話が盛り上がり急遽3回目のそば 方にも声をかけてくれたこと。全2回の講座の予定が **参加してほしいと声かけしました** ここがうまくいった 回目に参加してくれた方が、楽しかったからと他は



を増やして自炊できる ように頑張りたい。

1人で留守番した時

に、惣菜ばかりで飽き た経験から今回参加 しました。レパートリー

庄内町 立谷沢公民館 成人教育事業

男の厨房danchu(だんちゅう)講座

楽しさを知ってもらいたいと今年度より始めました。 暮らすためには何が必要なのか?家族に頼りきりの「食 に興味を持ってもらい、食べることだけでなく自分で作る 本格的な高齢化社会を迎え、男性が自立して健康に

いただいたので、昔話に花が咲き和気藹々とした雰囲 気の講座になりました。 る晩酌コースまで。団塊世代のお父さん達に参加して の量り方などの「基本のき」から、つまみを作り乾杯す 全2回の講座では、野菜の洗い方や切り方、調味料

家事は女性がするものだとの意識が根強いため、

Information Space



【山形県生涯学習センターの助成制度のご案内】

遊学館青少年学習活動

「山形学」地域連携講座 支援事業

地域生涯学習活性化 支援事業

関係者向け

県内高等学校文化部が遊学館を利用 して活動成果の発表などを行う際に、助 するため、県民を対象とする地域に関す が県民を対象とする生涯学習事業を実 成を行っています!

一般向け 関係者向け

県内の地域学や地域づくり活動を支援 る体系的な講座に、助成を行っています! 施する際に、助成を行っています!

関係者向け

市町村や各教育委員会、関係施設等

	募集期限	平成28年1月30日(土)【期間内随時受付】	平成27年5月15日(金)【一次募集·必着】 平成27年10月31日(土) 【二次募集·期間内随時受付】	平成27年5月15日(金)【必着】					
	事業実施期限	平成28年3月31日(木)まで	平成28年3月31日(木)まで	平成28年3月31日(木)まで					
	助成事業数	6事業(予定数に達した段階で締切)	14事業	10事業					
月	助成金額	助成対象経費又は5万円のいずれか低い額	助成対象経費の3分の2(市町村は2分の1)又は30万円のいずれか低い額	助成対象経費の3分の2(市町村は2分の1)又は20万円のいずれか低い額					
	助成対象 経 費	印刷費・通信費・消耗品費・賃借料など (会場使用料など除く)	謝金・旅費・消耗品費・賃借料・印刷費など	謝金・旅費・消耗品費・賃借料・印刷費など					
	申請方法	山形県生涯学習センターへ事前連絡の上、募集要領・助成金交付要綱に基づき、募集期限までに必要書類を提出							

「山形学 | フォーラム

般向け

「時をつむぐ山形の若者たち」

毎年さまざまな切り口で山形の魅力に迫る「山形学」。今年度 は、山形の若者の過去・現在の姿を通して、山形の未来を考えてい きます。入門編となるフォーラムは5月募集開始、6月初旬開催予 定。詳細は山形県生涯学習センターまで。(続く全6回の連続講座 は6月募集開始予定、7月~10月開催予定)

▶内 容 基調講演・シンポジウムほか

▶会 場 遊学館ホール

▶定 員 320名

▶参加費 無料



遊学館ブックス

食から考える山形 ~足もとの食を見つめながら~

25年度の「山形学」講座の講座録 "遊学館ブックス"の最新刊!

「ローカルな食」をテーマに、地元にしかない 食や食文化が持つ力、それを未来につなげるた めの私たちの役割を考えました。生産者や料理 人だけでなく、高校生からメディアまで様々な立 場の方のお話も盛りだくさん。興味がおありの方 は、お近くの公立図書館でもご覧いただけます。



平成27年3月14日発行 B6判 ▶



今年度より発刊となった『生涯学習やまがた』、関係者の方々のご協力もあり、無事に3回 発刊することができました。ありがとうございました。出版社での経験を活かせたものの、「伝 わる」と「伝える」の間で悩み、広報紙の難しさに向き合った一年間となりました。(樋口)

次回発行は7月の予定です

編集発行 (公財)山形県生涯学習文化財団 平成27年3月発行

山形県生涯学習センター 〒990-0041 山形市緑町1-2-36[遊学館 3F]

TEL 023-625-6411 FAX 023-625-6415 E-mail yama@gakushubunka.jp URL http://www.gakushubunka.jp

■開館時間 9:00~21:00[夜間利用が無い場合は19:00まで]

毎週月曜日、毎月第3日曜日、年末年始 ▲休館日

洗心庵 [山形県生涯学習センター分館] 〒990-0041 山形市緑町1-4-28

TEL 023-664-2800 FAX 023-664-2816

■開館時間 9:00~21:00[夜間利用が無い場合は19:00まで]

■休館日 毎週月曜日、毎月第3日曜日、年末年始